



真宗大谷派 (東本願寺) 天満別院

# 六字城

716号  
2024  
7/1  
大阪市北区東天満1-8-26  
06-6351-3535  
代表者 輪番・奥林 曉

天満別院崇敬寺院巡り

川勝山 祐泉寺

住職代務者：嶋崎 加奈弥  
住所：大阪市北区天満一丁目一番九号

## 沿革

祐泉寺は真宗大谷派に属し、秦川勝の末裔で同姓の五良左衛門尉経明が本願寺八世蓮如上人に帰依して弟子となり、明応七(一四九八)年三月、玉造村に建立されました。寛永十二(一六三八)年現在地に移転し、大塩の兵乱に焼け、天保十二(一八四一)年再建したものが現在の本堂であり、平成二十七(二〇一五)年に庫裏を改築されました。現在、代務者として嶋崎加奈弥師がお寺を守っておられ、父である先代の住職は二十四代目になられます。

祐泉寺では春・秋彼岸会、盂蘭盆会、報恩講の行事を開催されており、先代の住職が廿日講を毎月第三日曜日に開講されました。廿日講では勤行と『無量寿経』の読み進めが行われています。空襲により近くのご門徒さんは遠方へ引っ越しておられお参りの方が減ってきており、廿日講に参拝のご門徒さんも年々少なくなっているが、自身の勉強にもなることと続けておられます。

コロナ禍に入り、ご門徒の皆様が楽しみにしていた茶碗蒸し(一月)ぜんざい(二月)ちらしずし(四月)が中止となっていたが、今年の一月によくやくおぜんざいを召し上げることができました。嶋崎代務者は「ご門徒さんの高齢化により報恩講のお磨きなどお手伝いの方々が年々減ってきているが、お寺の周りはマンションが多く建設されており子どもの声を聞くことが増えている。学校で美術の教師をしていた経験を活かして地域の若い世代が集まれる様な行事を作りたい」とお話しいただきました。

## 法要・行事予定

7月		8月	
6日	同朋の会推進員養成講座 (14時)	2~3日	暁天講座 (両日ともに6時)
11日	従如上人御祥月御命日 (8時)	12日	合祀墓追弔会 (9時)
12日	闍如上人御遠夜・常永代経 (14時)		闍如上人御遠夜・常永代経 (14時)
13日	闍如上人御命日 兼日中 (8時)		墓前申経 (9時から17時まで)
20日	天満別院合唱団「みのり」 (14時)	13日	闍如上人御命日 兼日中 (8時)
25日	宣如上人御祥月御命日 (8時)		証如上人御祥月御命日 (8時)
27日	定例法話 (13時30分) 墨林 浩 師 (第2組光照寺) 宗祖聖人御遠夜		盂蘭盆会 (13時30分) 松井 聰 師 (第13組心願寺) 墓前申経 (9時から17時まで)
28日	宗祖聖人御命日 兼日中 (8時) 法話：輪番 奥林 曉	27日	宗祖聖人御遠夜 (14時)
		28日	宗祖聖人御命日 兼日中 (8時)

※ 諸事情により、7月の定例法話は27日に開催します。

おあさじにお参りしましょう!!  
毎朝7:45分~8:30頃まで  
※土、日は職員による感話があります。一人でも多くのご参詣をと、願っています。

## 7月 定例法話

定例法話は、多彩な講師陣がわかりやすく真宗のみ教えをお話しされます。別院の都合により7月の定例法話は左記の通り開催致します。

### 記

日時 7月27日(土)  
午後1時30分  
場所 天満別院 本堂  
御講師 第2組 光照寺 墨林浩師

## 今月の伝道掲示板

水はつかめません  
すくうもの  
心はつかめません  
汲みとるもの  
—東井義雄—

## 編集後記

七月に半年過ぎた義母の還暦をお祝いします。過ぎたことを申し訳なく思いますが、そのことを悪い(物事に良し悪しがある)と思っているのは錯覚であると説かれていたのが仏法であります。何に於いても人がより多く集まる日にできることが大切であり、後よりかは先がいいということもありません。ただ後にしたらずる長引いてしまう。そういうことはあるのかもしれない。しっかりと祝いしたいと思えます。

お酒と楽しむ  
大人の創作中華料理  
天満 天神飯店  
カウンター8席・テーブル2席  
女性お1人様もお気軽にどうぞ  
北区天神橋3-3-17 幸陽ビル1F  
定休日:毎週水曜 第3木曜  
【平日】【土曜】【日祝】  
18時・23時 17時・23時 17時・22時  
TEL:050-1040-7903

おかげさまで創業120余年  
あなたの街の石やさん  
株式会社 太田石材店  
~仏事その他何なりとお気軽にご相談ください~  
0120-305-075  
本社  
〒536-0001 大阪市城東区古市1丁目23番20号  
TEL 06-6930-5075 FAX 06-6930-5078



お焼香のやり方がバラバラですが、どれが正しいのでしょうか？



お香入れの中のお香の乱れを整えて合掌・念仏します。その後合掌を解き、軽く頭を下げます。

答え

お焼香は仏教の儀式には欠くことの出来ないものであり、お釈迦さまの時代から行われていたと言われています。『仏説無量寿経』というお経の中に「一切万物がみな、無量の雑宝や百千種の香をもって共に合成し、その香はあまねく十方世界に薫ぜん」と、お香を焚いて、すばらしい香りに満ちていると言われる極楽浄土の世界を表現することと伝えられています。その時に大切に考えたいことは、亡くなった方がお骨になって行く姿を通して、私たちに、逃れることの出来ない死の事実を教えて下さっていること。

そしていずれ我が身も同じように老いて病んで死んでいく身であるということを知る大切なご縁にして頂きたいと思えます。さてお焼香の仕方は、各宗派によって異なります。ですから、大勢の方が集まられるお葬儀や法事などで、いろいろなやり方でお焼香されているのをご覧になりますと戸惑われることでしょう。そこで、真宗大谷派の場合のお焼香の作法を説明させて頂きまします。まず、お焼香の順番が回ってききましたら焼香台の前に進み、ご本尊を仰ぎ見て、身を正します。次にお焼香をします。左手を焼香台の端にそえ、右手で香をつまんで香炉の中に2回入れます。この時、つまんだお香を頂いたり、額のところへ持って行くようなことはしません。最後に右手の指先で香盒（香を入れる仏具）の中の香の乱れを直してから静かに合掌します。合掌を解き、軽く頭を下げたあと元の席に戻ります。（焼香する前に合掌はしません）最近では、香炉と香盒を焼香盆に乗せ、順番に回していく「回し焼香」が多いようです。この場合も作法は同じです。（第13組 心願寺 松井恵）

報告

6月 同朋の会

去る6月5日（水）同朋の会が開かれました。今回は堂島リバーフォーラムに行き、絵画と音楽の融合を見ることが出来ました。参加された方からは、「なかなか自分で行くことがない場所なのでいいよかったです」と皆さん親睦を深めていました。



院議会開催

去る6月13日（木）、院議会が開催され、左記の通り議案の審議が行われました。

記

- 2023年度
  - ・経常部及事業部歳入歳出決算書
  - ・本坊運営資金収支計算書
  - ・災害見舞特別会計収支計算書
  - ・墓地運営資金収支計算書
  - ・整備事業積立金収支計算書
  - ・有価証券勘定書収支計算書
  - ・期末現金・預金・有価証券勘定書
  - ・本坊運営資金積立金規則（案）
  - ・退職給与積立金規則（案）
  - ・災害見舞積立金規則（案）
  - ・その他 墓地管理規定について
- 以上
- 全議案、全会一致で可決承認されました。



門徒会総会開催

去る6月20日（木）門徒会定期総会が開催され、左記の通り議案の審議が行われました。

記

- ・2023年度事業・会計報告
  - ・会計監査報告
  - ・2024年度事業計画（案）
  - ・その他
- 以上

全議案、全会一致で承認されました。

夏の御文 法要

6月24日（月）御講師に22組因超寺 山名 彰英師をお迎えし、講題「御文をいただく」についてお話いただきました。山名師は以前天満別院で25年間列座を勤められており、現在も嘱託で別院に所属して頂いています。

師は、御文の中に出てくる「安心」（やすきこころ）という言葉は蓮如上人が多く用いておられ親鸞聖人は、「信心」（まことのこころ）



22組因超寺 山名 彰英 師

ろ」という言葉を多く使われていた。また、大谷派では黙念（心の中で念仏を称える）が「他力」の考えであり、促されて口で称える念仏は「自力」であると話されていました。最後に、一生懸命頑張ったが叶わなかった、手に入らなかった時に、そのことに気づくことが「他力」に遇うことであり「自力」を超えた上に「他力」があると話されていました。当日のご法話には、山名師の係者や御門徒の方々が参拝されました。皆さん久しぶりの山名師との再会を喜んでおられ、また熱心に聴聞されていました。

江頭彩音さん 退職挨拶

短い間でしたがありがとうございます。ご縁があって、天満別院で働かせていただけになったにもかかわらず、期間が短くなってしまい申し訳なく思っております。

初めてのことが多く、ご迷惑をおかけしたこともあったと思いますが、様々な行事に携わり別院のお手伝いをさせてもらうことができ、良い経験となりました。また、ご門徒の方々も何も分からない私に優しく声をかけてくださり嬉しかったです。感謝しております。別院で学んだこと、経験したこととをこれからの生活に活かしていきたいと思えます。本当にありがとうございます。



江頭彩音

告知

暁天講座 案内

天満別院では、左記の通り暁天講座を開講致します。

記

- 日時 8月2日（金）、3日（土）
- 両日ともに6時～ おつとめ 6時30分、 7時30分頃まで法話

講師 第21組 西向寺 新川隆教師

講題 「お経のこころ」

場所 天満別院同朋会館 講堂

※聴講は無料です。尚、講座終了後には軽食を用意しております。

（ご提供 太田石材店様）